

米国経済・株式市場情報

# FOMCで10年半ぶりの利下げを決定

- 米国FOMCで10年半ぶりの利下げを決定。政策金利を2.00-2.25%へ0.25%引き下げ。
- 経済の底堅さを認めつつ、世界経済の不透明感とインフレ圧力の弱さを利下げ決定要因に。
- パウエルFRB議長は「長期的な利下げ局面に突入するものではない」と述べ、今後の追加利下げに慎重な方針を示す。
- パウエルFRB議長の利下げ慎重論を受けて米国株は下落。今後は米国企業の業績動向が米国株のカギを握る見込み。

## 世界経済の不透明感からFRBは利下げを決定

FRB（米連邦準備制度理事会）は7月30-31日のFOMC（米連邦公開市場委員会）で10年半ぶりの利下げを決定しました（政策金利を2.00-2.25%へ引き下げ、図表1）。

FOMC声明文は、米国の労働市場や経済活動は引き続き底堅いとの見方を示しつつ、世界経済の不透明感とインフレ圧力の弱さを利下げ決定の要因として指摘しました。

また、パウエルFRB議長は記者会見において、「（今回の利下げは）政策のサイクル半ばの調整であり、長期的な利下げ局面に突入するものではない」と述べ、今後の追加利下げに関しては慎重に検討する方針を示しました。

実際、今回のFOMCの政策決定に当たって、利下げ票を投じた8名の委員に対して、2名の委員が金利据え置き票を投じたことは、FOMC内部でも利下げに関する見方が分かれていることを示唆しています。

## 米国企業の業績動向が今後の米国株のカギ握る

金融市場ではFRBによる積極的な金融緩和を織り込みつつあったため、パウエル議長の利下げ慎重論の表明を受けて、7月31日の米国株は軟調な展開となりました。

2019年の年初からの米国株式市場は、FRBの利下げ観測を背景にした金融相場に支えられてきた面が大きいと考えられます。今後はFRBに対する過度な緩和期待が是正される中、米国企業の業績動向が米国株相場の先行きのカギを握るものとみられます。

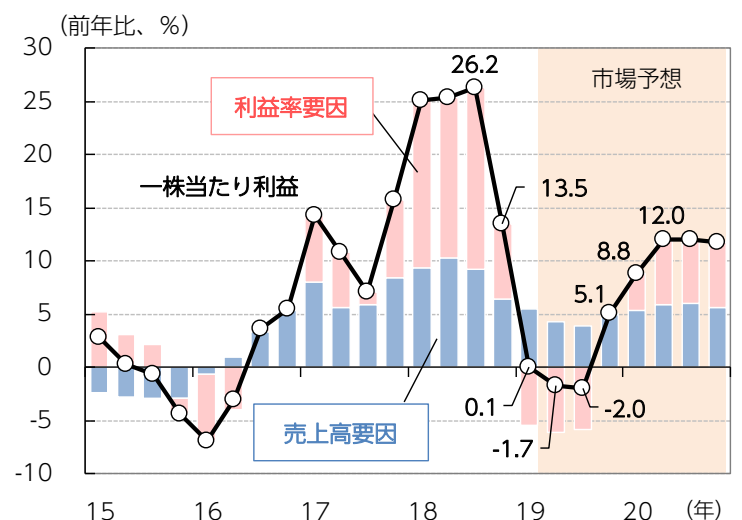
2019年7月末時点の市場予想では、2019年第2四半期から第3四半期が米国企業の業績サイクルの底とみられており、2019年末から2020年にかけて業績は回復に向かうと見込まれています（図表2）。現在公表が続く2019年第2四半期の米国企業の決算発表では、業績底打ちが確認できるかに市場の注目が集まりそうです。

図表1：米国株、米国政策金利、米国10年国債利回りの推移



(出所) ブルームバーグ、FOMC  
(期間) 2017年7月3日～2019年7月31日（日次）

図表2：米国企業の一株当たり利益伸び率の要因分解



(出所) ファクトセット  
(期間) 2015年1Q～2020年4Q（四半期）  
(注) S&P500指数採用銘柄。市場予想は2019年7月末時点。

## 【当資料に関する留意点】

- 当資料は、市場環境に関する情報の提供を目的として、レグ・メイソン・アセット・マネジメントの情報を基に、ニッセイアセットマネジメントが作成したものであり、特定の有価証券等の勧誘を目的とするものではありません。また、金融商品取引法に基づく開示資料ではありません。実際の投資等に係る最終的な決定はご自身で判断してください。
- 当資料は、信頼できると考えられる情報に基づいて作成しておりますが、情報の正確性、完全性を保証するものではありません。
- 当資料の内容は作成時点のものであり、将来予告なく変更されることがあります。
- 当資料のいかなる内容も将来の市場環境等を保証するものではありません。
- 当資料にインデックス・統計資料等が記載される場合、それらの知的所有権その他の一切の権利は、その発行者および許諾者に帰属します。
- 当資料に投資信託のグラフ・数値等が記載される場合、それらはあくまでも過去の実績またはシミュレーションであり、将来の投資収益を示唆あるいは保証するものではありません。また税金・手数料等を考慮しておりませんので、実質的な投資成果を示すものではありません。
- 投資信託は投資する有価証券の価格の変動等により損失を生じるおそれがあります。
- 投資信託の手数料や報酬等の種類ごとの金額及びその合計額については、具体的な商品を勧誘するものではないので、表示することができません。

## &lt;設定・運用&gt;



ニッセイアセットマネジメント株式会社

商号等：ニッセイアセットマネジメント株式会社

金融商品取引業者

関東財務局長（金商）第369号

加入協会：一般社団法人投資信託協会

一般社団法人日本投資顧問業協会

ニッセイアセットマネジメント株式会社

コールセンター 0120-762-506（受付時間：営業日の午前9時～午後5時）

ホームページ <https://www.nam.co.jp/>